1 化学品及び会社情報

化学品の名称	液体ガスケット （灰色）
製品コード	99000-31210-G01
会社名	神戸合成株式会社
供給者の会社名称	兵庫県小野市匠台10番地
担当部門	品質保証本部
電話番号	0794-64-7771(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
FAX番号	0794-64-7772
緊急連絡の電話番号	0120-80-9400(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
推奨用途及び使用上の制限	自動車、二輪車に使用可能なシール剤 （業務用）
整理番号	MSSZ-31210G01-01

2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1B
	その他の項目は、「区分に該当しない」もしくは「分類できない」に該当	

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

・腐食性
・感嘆符



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H318 重篤な眼の損傷
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P264 取り扱い後は、汚染箇所をよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

3 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物

成分名/化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化学式	化審法No.	安衛法No. 通知対象物質	PRTR法No.	毒劇物 該非
結晶性シリカ	25～30	非公開	非公開	既存	312	非該当	非該当
非結晶性シリカ	0.5～1	非公開	非公開	既存	312	非該当	非該当
ﾒﾁﾙｵｷｼﾑｼﾗﾝ	1～5	非公開	非公開	既存	非該当	非該当	非該当
ﾋﾞﾆﾙｵｷｼﾑｼﾗﾝ	1～5	非公開	非公開	既存	非該当	非該当	非該当
ｱﾙｺｷｼｼﾗﾝ	0.5～1	非公開	非公開	既存	非該当	非該当	非該当
酸化ﾁﾀﾝ	0.5～1	13463-67-7	非公開	(1)-558	191	非該当	非該当
ﾒﾁﾙｴﾁﾙｹﾄｵｷｼﾑ （不純物）	<1	96-29-7	非公開	(2)-546	非該当	非該当	非該当

化審法No.：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号

安衛法No.：労働安全衛生法（安衛法）第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

PRTR法No.：特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）対象化学物質の政令番号

毒物劇物取締法　　毒物及び劇物取締法の別表一（毒物）、別表二（劇物）、別表三（特定毒物）毒物及び劇物指定令

4 応急処置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石けんと水で洗うこと。皮膚に少量付着した場合、影響を受けていない皮膚に物質が広がるのを防止すること。皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣服を直ちに脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

目に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。直ちに医師の手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火器、粉末消火器、二酸化炭素（CO2）

火災時の特有の危険有害性

加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。
窒素酸化物。（腐食性あり。）

特有の消火方法

もし危険を冒さずに出来る場合は、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器（SCBA）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通知すべきである。
流出物質に触ったり、踏んだりしない。十分な換気を確保する。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

安全を確認してから、流出防止の措置をとる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

全ての着火源を取り除く。

大量の漏出：可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。プラスチックシートで覆い、拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。

少量の漏出：布などの吸収剤で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。

元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

局所排気・全体排気

適切な換気を行う。

安全取り扱い注意事項

取扱い／保管は慎重に行うこと。取り扱い後は手をよく洗うこと。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。
本物質を目に入れないこと。皮膚に触れないようにする。長時間の暴露を避けること。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

適切な衛生対策

眼に入れない。皮膚に触れないようにする。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。汚染された作業衣は
作業場から出さないこと。適切な産業衛生および安全対策のもとに取り扱う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した
場所に保管すること。

安全な容器包装材料

元の容器で保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

設備対策

局所排気装置、全体換気の設備を使用する。

許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度1 （日本産業衛生学会）	許容濃度2 （ACGIH）
結晶性シリカ	データなし	0.03mg/m3	0.025mg/m3
酸化チタン	データなし	4mg/m3	10mg/m3
ﾒﾁﾙｴﾁﾙｹﾄｵｷｼﾑ	3ppm（ﾒｰｶｰｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ）	未設定	未設定

設備対策

適切な全体換気・局所排気装置を設置する。洗眼設備を設置する。
施工後、少なくとも24時間はドアや窓の開放・換気扇の使用などを行い換気の良好な状態にしてください。

保護具

呼吸器の保護具

作業者が曝露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要
がある。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

目の保護具

側板付安全眼鏡（またはゴーグル）を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

9 物理的及び化学的性質

物理的状態

外観・形状	ペースト	
色	灰色	
臭い	オキシム臭	
滴点	データなし	
沸騰範囲	該当せず	
引火点	75℃	（密閉式）
発火点	データなし	
爆発範囲	データなし	
密度及び/又は相対密度	1.58	（25℃）
溶解性	データなし	

10 安定性及び反応性

反応性

通常の使用、保管、輸送条件下で起こる既知の危険な反応はない。

化学的安定性

通常の条件では安定。

危険有害反応可能性

危険な重合は起こらない。

混触危険物質

強酸化剤。水、湿気。

危険有害性分解生成物

本品は水、湿気及び空気中の水分と反応して（加水分解）、下記化合物を生成する。
メチルエチルケトオキシム。
『8. 暴露防止及び保護措置』および『11.有害性情報』を参照。加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。
一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化珪素。
窒素酸化物。ホルムアルデヒド。

11 有害性情報

ﾒﾁﾙｵｷｼﾑｼﾗﾝ	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激	重篤な眼の損傷
	皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	発がん性	発がんのおそれの疑い
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	長期にわたるまたは反復ばく露により造血系に影響を与える可能性がある。
ﾋﾞﾆﾙｵｷｼﾑｼﾗﾝ	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激	重篤な眼の損傷
	皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	長期にわたるまたは反復ばく露により造血系に影響を与える可能性がある。
ｱﾙｺｷｼｼﾗﾝ	急性毒性（経口）	LD50ラット 1570～3650 mg/kg、1780 mg/kg
		LD50ウサギ 4290 mg/kg
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚刺激 5mg/24hr 強刺激性（ウサギ）
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激	750ug/24hr 強刺激性（ウサギ）
	皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	生殖細胞変異原性	陰性（Ames試験）
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	長期にわたるまたは反復ばく露により造血系に影響を与える可能性がある。

酸化ﾁﾀﾝ	発がん性	ACGIH発がん性物質	A4 ヒトへの発がん性を分類できない
		IARC発がん性評価ﾓﾉｸﾞﾗ	2B ヒトに発がん性の可能性がある。

ﾒﾁﾙｴﾁﾙｹﾄｵｷｼﾑ	急性毒性（吸入） 蒸気	LD50ラット	>4.83 mg/l, 4hr （オスおよびメス）
	急性毒性（経口）	LD50ラット	>900 mg/kg （オスおよびメス）
			2326 mg/kg （オス）
	急性毒性（経皮）	LD50ウサギ	>1000 mg/kg （オスおよびメス）
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激	重篤な眼の損傷	
	皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	
	発がん性	発がんのおそれの疑い	
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	長期にわたるまたは反復ばく露により造血系に影響を与える可能性がある。	
	その他の情報		
	製造時の副生成物として本品に少量含まれ、又空気中の水分と接触して硬化する時に徐々に生成するメチルエチルケトオキシムの有害性		
	皮膚刺激性	軽度の刺激性あり	
	眼刺激性	強い刺激性あり	
	急性毒性	経口LD50 => 900 mg/kg（ラット）	
		経皮LD50 => 1000 mg/kg（ウサギ）	
		吸入LC50 >4.83 mg/l/4h（ラット）	
	吸入毒性	高濃度で一時的な麻酔作用あり	
		その他血液機能への影響あり	
	皮膚感作性	陽性（ギニアビッグ、但しヒトでは陰性）	
	神経毒性	高濃度で一時的な運動機能低下（ラット）	
	発がん性	高濃度（375ppm）でのラット及びマウスの生涯試験（約2年）でオスのみに肝腫瘍が観察された	
	その他の長期曝露試験	嗅覚上皮細胞の退化が観察された。（ラット、マウス）また、404ppmの濃度では、血液学的指標に有意の変動が認められた。	
	許容濃度	3ppm（TWA）、10ppm（STEL）、AIHA WEEL（米国産業	
	ﾒﾁﾙｴﾁﾙｹﾄｵｷｼﾑﾒｰｶｰの暴露ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ	衛生学会、作業環境曝露ﾚﾍﾞﾙ）：10ppm（TWA）	

本製品中に含有されるｼﾘｶ、酸化ﾁﾀﾝは労働安全衛生法の表示対象物質ですが、GHS分類の基準では分類され危険有害性を有しません。ただし、分類がないことは慢性的な吸入ばく露での何らかの有害性のおそれを否定するものではありません。

12 環境影響情報

ｱﾙｺｷｼｼﾗﾝ	水生（魚類：ヒメダカ）	LC50	>1000 mg/l, 48hr
	残留性/分解性	大気中または水中で容易に加水分解する。	
ﾒﾁﾙｴﾁﾙｹﾄｵｷｼﾑ	水生（魚類：ファットヘッドミノー）	LC50	777-914 mg/l, 96hr
	生態毒性	水生生物に有害	
酸化ﾁﾀﾝ	水生（魚類：マミチョグ）	LC50	>1000 mg/l, 96hr
	水生（甲殻類：オオミジンコ）	EC50	>1000 mg/l, 48hr

13 廃棄上の注意

地域の廃棄規制

未硬化物：焼却処理。その際、シリカの微粉が生成いたしますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。

硬化物：埋没処理又は焼却処理。焼却の際は、シリカの微粉が生成いたしますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物／容器を地域／地方／国／国際規則に従って処理すること。

14 輸送上の注意

国際規制

IATA

危険物には該当しない

IMDG

危険物には該当しない

MARPOL73/78条約の付属書II及びIBCコードによるバルク輸送

本製品は、ばら積み輸送用ではありません

国内規制

陸上輸送

消防法、危険物の規制に関する規格などの輸送について定めるところに従う。

積載方法

容器に漏れのないことを確かめ、転倒，落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。

混載禁止

第一類及び第六類の危険物

海上輸送

船舶安全法における危険物に該当しない

航空輸送

航空法における危険物に該当しない

15 適用法令

高圧ガス保安法		適用除外
消防法	法第2条第7項危険物別表第1	指定可燃物（可燃性固体類）
毒物及び劇物取締法	法第2条別表第1、別表第2、別表第3	該当せず
労働安全衛生法	法57条第1項（表示対象物質）	シリカ
	法57条の2第1項（通知対象物質）	3.組成、成分情報に記載
	施行令別表第1危険物	該当せず
	施行令別表第3特定化学物質	該当せず
	施行令別表第6の2有機溶剤	該当せず
化学物質排出把握管理促進法	施工令別表第1第1種指定化学物質	該当せず
	施工令別表第2第2種指定化学物質	該当せず
海洋汚染防止法		該当せず
火薬類取締法		該当せず

16 その他の情報 （引用文献）

引用文献

原材料メーカーSDS

※この安全データシートは日本国内向けに作成していますので、無断での翻訳・海外向けへの交付はご遠慮くださいますようお願いします。
製品を海外に輸出する場合には、仕向け国の法令・規制について事前にご確認ください。
※この情報は、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考として、取扱う事業者に提供されるものです。
※記載内容は現時点で入手できる資料および情報に基づき作成しております。新しい知見および試験情報等により改正されることがあります。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従いまして、この安全データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

[会社情報]

販売者：熊本中央スズキ自動車販売(株)
所在地：熊本県熊本市北区飛田4-6-51
TEL:096-345-4102